

令和 5 年度第 2 回総合教育会議 会議録

1 日時 令和 6 年 1 月 16 日(火)午後 3 時 00 分～午後 4 時 30 分

2 場所 三島市役所中央町別館 4 階 第1会議室

3 出席者

(構成員)

豊岡市長、小塚教育長、佐藤委員、竹林委員、草間委員、飯島委員

(説明者他)

鈴木教育推進部長、西川産業文化部長、鈴木教育推進部主任、杉山教育総務課長、
中村学校教育課長、若林生涯学習課長、渡辺図書館長、辻文化財課長、
加藤文化振興課長、飯田企画戦略部長

(書記)

高梨教育総務課総務係長、芦川教育総務課主事

4 傍聴人の数 0 人

5 協議または報告に係る事項 「絵本のまち三島」事業の推進について

6 発言者及びその要旨

(1)開会

(2)市長あいさつ

本日はお忙しい中、総合教育会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。

今年の元日は日本晴れで富士山が美しく輝いておりましたが、能登半島地震が発生しまして、大変な状況となっています。犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、避難生活で苦勞されている皆様方が一日でも早く元の生活に戻れるようお祈り申し上げます。三島市の対応としましては、元日の夜 9 時半には富士山南東消防本部等から救助隊が珠

洲市に向かいました。順次交代し、今は 6 次隊が現地に行っているところです。今後給水車や被災家屋の調査、下水道の調査要員など逐次派遣する予定です。長期にわたり支援していきたいと思っております。

本日の「総合教育会議」は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴い、平成 27 年度から設置されたもので、令和 5 年度は 6 月に第 1 回を開催しており、今回が 2 回目の開催となります。

「総合教育会議」は、地方公共団体の長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的としているところであります。

今回は来年度から市長部局の文化振興課と、教育委員会の図書館が協力して推進していく「絵本のまち三島」事業をテーマとして設定させていただきました。

本日、本事業の概要をご説明させていただいた後、教育委員の皆様方へ、ご意見やご助言をいただき、今後の施策の進め方を検討させていただきたいと存じますので、忌憚ないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

新年になり嬉しい話といたしますと、大谷選手から寄贈されたグローブについて、先日徳倉小学校で寄贈式を執り行いました。様々なスポーツを通じて、健康づくりに取り組んでほしいと願うところです。

教育環境の整備を逐次進めて参ります。児童生徒の心と体の健やかな成長を願っているところでございます。委員の皆様にも忌憚ないご意見いただけますようお願いし、開会の挨拶とさせていただきます。

(3) 議題

「絵本のまち三島」事業の推進について

(豊岡市長)

それでは議題に入ります。冒頭に申し上げましたとおり、本日の議題は、「絵本のまち三島」事業の推進について、でございます。

絵本は単なる子ども向けのお話ではありません。生まれて初めて出会う芸術ともいえる絵本は子どもが読むからこそ大人にとっても魅力あるものでなければならないと言われております。

この絵本の力で、豊かな心が育ち、人が集まり、にぎわいが増えて、三島のまちが潤い、さらに人が育まれていくことで、多くの市民がウェルビーイングとなることを目指して参ります。

絵本に関連するこれまでの取組み、これから取組むこと、直面する課題などについて説明させていただき、委員の皆様へ、ご意見を伺いたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

では、事務局から説明をお願いします。

渡辺図書館長及び加藤文化振興課長から、以下の項目に関する説明があった。

【「絵本のまち」を目指す理由】

【これまでに取り組んできたこと】

【「絵本のまち三島」の目的と効果】

【これから取り組むこと】

質疑応答

(竹林委員)

絵本を活用したまちづくりは、とても素敵。市民の皆様に広げていくにはハードルが高いと感じる。先行している「ガーデンシティみしま」はかなり浸透しているし評価も高い。地元の人材を生かしてガーデンシティと絵本というものがタイアップしてすごく明るい優しいイメージを生み出すと思う。

絵本と出会う時期について、幼年期と少年期は本との出会いは充実している。小中学校に在籍していたとき、ボランティアの方や地域学校協働本部の方が読み聞かせしてくださった。心を育てるためにもとても良い。三島市はこの点、進んでいると思うのでこのまま継続していただきたい。

青年期中年期については、なかなか難しいと思うが、具体性があることを積み重ねていくことが大事。男女関係なく子どもへの読み聞かせを行うことも必要。読み聞かせ講座への参加をより積極的に呼びかけると良いと思った。

(豊岡市長)

東芝テック様が毎年幼稚園、保育園に絵本を寄贈してくださっている。そして東芝テック様で働く方が園児に読み聞かせをするという事例がありますのでご紹介させていただく。

(飯島委員)

絵本のまち三島というブランディングは時間をかけてやっていくことだと思う。絵本がモチーフのマンホールを知ってもらうのも第一歩。YouTube で「読み聞かせ」で検索してみると、様々な動画が上がっている。子どもを寝かしつけるために活用している方もいると思う。三島市で読み聞かせ動画を出すことで全国から興味を持ってもらうことにも繋がる。子どもに読み聞かせをしたときのことを思い出すと、子育てのポリシーのような自分に対しても気づきのある、子どもの成長を実感する良い機会だった。

青年期の絵本との関わりについては、例えばジンタ号を企業に派遣して、絵本を借りやすい状況を作るということも考えられる。中小企業の社長の中には勉強家の方がたくさんいる。子どものためだけではなく、絵本の題材になる SDGs に関する事など社会的な見識を学ぶ機会にもなるので、社内での勉強会を行っている企業に呼びかけていくと題材として扱ってもらえるかもしれない。子どもたちが読書好きに育って、本を読む習慣がつけばうれしく思う。

(豊岡市長)

今危惧されているのは、子育てをスマホに頼りすぎる事。対話をとおして社会性を育てていくことが必要。そういう意味で読み聞かせはとても意義のあること。

(草間委員)

絵本をモチーフにしたマンホールを日々かわいいなと思いながら見ている。直に見て体験することが大事だと伝えることが大切。黙読と音読で第三者から聞くことの違いもとても大切。立体的な音読と視覚的な情報を取り入れていく機会が老若男女問わず必要。三島市文化芸術協会でも様々な分野の方がいるので、お声がけいただければ協力することができる。生のを届けるということ三島のメリットとして活用していくことで、より絵本のまちというのがアピールできると思う。

(豊岡市長)

マンホールについては下水道事業に関心を持ってもらうために行った。下水処理場の道路の一部に去年と今年、地域のアーティストの方と協力しつつ、小学生に絵を描いてもらった。100人以上の参加があった大きなイベントになった。関心を持ってもらうとともにSDGsにつながるととても良いイベントになった。12月11日には、その活動を支援するためのチャリティーが開かれ、その収益がアーティストの方に寄付された。社会課題に子どもたちが関心を持ってくれるまちになっていくと思う。

(佐藤委員)

素晴らしい取組み。学び感動を得ることができた。

三島はメルヘンのまちになると感じている。市長も絶えず唱えているウェルビーイング、豊かな潤いのあるまちづくりをどのように実現できるのか常々考えていた。今日あるひらめきを得た。周知徹底には時間がかかるかもしれないが、メディアや広報をとおして粘り強く発信することが必要。「絵本のまち三島」をまちづくりの旗印にして、頑張っていただきたい。

ヨーロッパの人々がなぜギリシャに行くのかというと、そこに人間性の原風景があるから。インッブ物語、アリとキリギリス、北風と太陽など西洋人の教養があそこから発せられている。したがって人生観を育むような教養を、この三島から発出すると良いかなと思う。

総力を挙げる、市民を巻き込んでいくことが必要。街中に様々な絵本の書棚があって、三島は絵本のまちだなどと思われるようになって良い。高齢者の認知症予防に読み聞かせがとても効果がある。幼い子どもたちに高齢者が読み聞かせをすることが、活気になり生きがいになると思う。ぜひ絵本のまち三島を具現化していただきたい。

(豊岡市長)

ドイツでは街角に小さな本を置いてあるところがあって、本が身近にあるまちづくりをしているという新聞記事を読んだ。ただ運営をしていく上では、本の補充などいろいろな課題もある。また本を読むための環境づくりについても工夫が必要。絵本代も費用がかかるので、企業等の参画もお願いしていく必要がある。まだまだ課題はあると思うが、まずはやってみることが大事。

(小塚教育長)

本日はいろいろとご意見いただきまして、ありがとうございました。以前中学校で、ある3年生が読み聞かせを聞いているときに、良い顔をして聞いていた。読み聞かせが終わった後、話を聞いてみると「小さいときに両親の膝の上で聞いていたのを思い出してほっこりする」と言って

いたことが印象的だった。読み聞かせを聞いているときは、ウェルビーイングの状態でいられると感じる。

これを広げていくためにも、今回いただいた課題もたくさんあるが、市長部局・教育委員会が連携して取り組み、市民の皆様がウェルビーイングになれるような絵本に親しめるまちになればとても素敵なおことだと感じている。私が子育てをしていたときと比べ、今はイクメンという言葉もありますが、若いお父さん方も休暇を取ることができるようになっているので、そういった方の意見を聞いていくことも大事。決まったメンバーだけでなく色々な人の様々な意見を聞くことで、もっと色々なヒントが得られると思った。事業を進めるうえで夢を感じる事ができた。本当にありがとうございました。

(4)その他

(豊岡市長)

本日の議題は以上となりますが、その他なにかございますでしょうか。よろしいでしょうか。

いずれにしても三島市のガーデンシティという取り組みは美しい品格のあるまちを作ろうということで、品格とは文化のことを指しています。そうしたまちに向かって力を併せて取組む、その一環で絵本のまちが素敵にできあがると良いと思います。

(豊岡市長)

以上をもちまして、令和5年度第2回総合教育会議を閉会します。本日はありがとうございました。